

文化近代化の含意と測定指標について

周 維 宏 *

始めに

文化は壁を越えやすいと言われるが、壁を越えた後、文化はどのように変化するのだろうか。社会学の一般理論によればひとつの国の近代化には普通、四つの側面がある。すなわち政治、経済、社会と文化のそれぞれの近代化である。文化の近代化は、壁を越えた文化の展開といえるだろうか。本論はこれを念頭に文化近代化の概念や含意を考える。政治、経済、社会の側面と比較して、文化の近代化は、近代化の段階の測定が難しい。特に計量的な測定には完成された方法がなく、まだ大きな課題が残されていると言える。本論も日本文化の近代化の測定を課題にし先行研究を整理するうえで測定の指標を考える。文化近代化の含意と測量は文化研究には重要な意義がある。測量によって文化研究の正確性、比較性、予測性において質が改善されると思われる。

1. 先行研究

本課題の先行研究は三つに分けられる。すなわち、文化概念についての研究、近代化の測定研究および文化近代化についての測定研究である。

1.1 文化の概念についての研究

文化近代化の測定研究をするとき、まず文化とは何かという概念を限定し、文化測定の内容や範囲を考えなければならない。

文化の概念について学界ではまさに十人十色、様々な説があるといわれるが、アメリカの文化人類学者クロボ(Alfred Louis Kroeber)とクラクホン(Clyde Kluckhorn)はかつて(1952年)『文化：概念と定義の批判的分析』(Culture: A Critical Review of Concepts and Definitions)という本の中で、1871-1951年の間に現れた160以上の定義を収集し、さらに以下のような9種類に分けた。

文化概念の学界分類：哲学的、芸術的、教育学的、心理学的、歴史学的、人類学的、社会学的、生態学的、生物学的。

この中では特に文化人類学の文化概念の影響が大きく、一般に受け入れられていた。代表的なものイギリスの文化人類学者タイラ(Edward.Bumett.tylor)が『原始文化』(Primitive culture 1871)という本の中で提唱した概念である。タイラは文化を知識、法律、道徳、慣習、信仰と芸術など人類が獲得したすべての知恵と才能の総合体と定義し、さらに以下の三つに分けられると主張する。

- ・知識：知識と才能
- ・制度：法律、道徳、慣習、風俗
- ・観念：信仰と芸術

1.2 近代化の測定についての研究

近代化の測定についての研究は、まず日本の社会学者、東大教授および日本社会学会会長であった富永健一の研究を紹介しなければならない。富永は『日本の近代化と社会変遷』(1990)という本の中で近代化の概念について次のような測定指標を提示した(表1)。

細かい数値指標は設計しなかったが、近代化の

*北京外国語大学北京日本学研究センター教授

表1 富永近代化指標¹

サブシステム	指標
政治	民主化
経済	産業化
社会	平等化
文化	合理化

4つの側面に応じてそれぞれ核心となる指標を提示し、革新的な近代化測定の指標綱目を提供してくれたと言えるだろう。

次にはプリンストン大学教授シリアル・ブレクが『比較近代化』（1966）と言う本の中に提出した近代化測定指標を紹介する。

ブレク近代化指標（表2）は10項目で25指標からなるが、どちらかという経済や産業に偏り、全面的な近代化指標とは言い難いだろう。

1.3 文化近代化の測定についての研究

文化近代化の研究は大まかに二つの内容に分けられる。一つは文化近代化そのものの理解や説明である。もう一つはその理解に沿った測定である。

1) 文化近代化の理解

まず伝統的な近代化理論の文化近代化の意味についての解釈である。前にも触れたように一言で言えば文化の近代化は（観念）の合理化に他ならないといえるだろう。

表2 ブレク近代化指標²

指標	低	高
1.人当たりGNP（ドル）	200-300	4000-6000
2.エネルギー消費（人当たり石炭当量, kg）	10-100	5000-10000
3.労働就業率（%）		
農業	85-95	5-10
工業	5-10	30-40
サービス業	5-10	40-60
4.各部門GNP比率（%）		
農業	40-60	5-10
工業	10-20	40-60
サービス業	20-40	40-60
5.最終支出GNP比率（%）		
消費	80-85	55-60
投資	5-10	20-30
政府支出	5-10	25-30

6.都市化率（10万人以上都市人口の比率）	0-10	50-70
7.教育		
中小学（適齢人口の入学率）	20-50	90-100
高等教育（百万人口の学生数）	100-1000	10000-30000
8.健康状況		
新生児死亡率（新生児千名の死亡率）	150-500	13-25
食物供給（一人当たり毎日カロリー数）	1500-2000	3000-3500
医者数（百万人口の医者数）	10-10	1000-2400
9.交流		
郵便利用数（人あたり毎年国内投函数）	1-10	100-350
電話使用回数（千人あたり）	1-10	100-500
新聞（千人あたり発行部数）	1-15	300-500
ラジオ（千人あたり台数）	10-20	300-1200
TV（千人あたり台数）	1-50	100-350
10.収入配分（各収入ランクの%）		
最低収入の五分之一人口	8-10	4
最高収入の五分之一人口	40-50	45
最高収入の百分之一人口	20-30	20

この見方の代表的な学者として、先程も登場した富永健一があげられる。富永は『日本の近代化と社会変遷』（1990）という本の中で、合理化を文化近代化の指標として明示した。

伝統的な近代化理論は、20世紀80年代後にポストモダンや第二近代化理論の挑戦に対して大きな転換を余儀なくされた。文化近代化の意義の解釈も新しい局面が現れた。代表的な学者はイギリスの理論社会学者のスコット・ラッシュ（Scott Lash）、クルク（crook）などであった。彼らによれば、文化近代化の意義として、伝統的な合理化のほかに、多元化や産業化も見逃されるべきではない。文化の多元化は文化が近代化の中に社会から独立して個人化、相対化していくことをさす。文化の産業化は文化が近代化の中に商業化され、平等化して普及されていくことをさす。³

このほか中国学者辛文斌による、この二種類の見方を総合して文化近代化の意義を合理化、均等

化、産業化として定義する考えもある。⁴

2) 文化近代化の測定

近代化の測定と比べて文化の近代化の測定は難しく先行研究が少ない。

かつて筆者は日本近代化の測定をする際に、合理化の観点から、大学入学率を文化近代化の核心指標として設定し、近代化の核心指標を作った(表3)。

このほかに近年、中国では二つの文化近代化の測定を試みる研究も現れた。そのひとつは寧波市地方政府の文化近代化計画に現れたもので(下では寧波指標⁶ともいう)、もう一つはそれに基づいてさらに拡大して中国全体の文化近代化を考えるものであった(下では中国学者何伝啓指標⁷ともいう)。この二つ文化近代化指標は、それぞれ一級指標が10個と二級指標が24個と101個になっている。寧波の指標は文化の産業化に傾いて、合理化や多元化の計測が不十分の恐れがあるが何伝啓の指標は三つの要素にともに配慮したが、二級指標が均等ではなく、また100個までで多すぎの印象が残る。

2. 文化近代化の含意について

本論では、先行研究に基づいて、社会学と文化人類学の文化理論と近代化理論を活用して、自分なりに文化概念や文化近代化の意味を考えたい。

1) 文化の構造について

本論では次のように文化の概念を構造化させる。

- ・ 1 思想文化：信仰、知識、道徳
- ・ 2 制度文化：政治、経済、社会
- ・ 3 生活文化：生活、慣習、芸術

一つ目は、人間の意識に内在する文化を思想文化とし、信仰、知識と道徳などを含めている。二つ目は人間関係に外在する行動文化を制度文化とし、

政治、経済と社会などの組織文化を含めている。三つ目は潜在意識による生活文化を生活文化とし、生活、芸術と慣習などを含めている。

2) 文化近代化の含意について

本論は文化近代化を理解するとき次のような主義を用いる。

- ・ 1 思想文化の合理主義
- ・ 2 制度文化の平等主義
- ・ 3 生活文化の多元主義

すなわち本論は思想文化の近代化を信仰、知識、道徳などの分野の合理化過程としてまた制度文化の近代化を政治、経済、社会などの分野の平等化過程としてさらに生活文化の近代化を生活、芸術、慣習などの分野の多元化過程として理解する。これらの含意も伝統的な文化価値「真」「善」「美」と合致している。真実に対する追究は思想文化を合理主義に導く。善良に対する追求は、制度文化を平等主義に導く。人びとのそれぞれの美の追求は、生活文化を多元化に導く。

3. 文化近代化の測定指標について

では、上の文化構造と文化近代化の含意を踏まえて、日本の文化近代化を測定する指標を考えてみよう。

3.1 思想文化近代化の指標について

思想文化の分野は信仰、知識、道徳の三つの側面を含めている。われわれは簡潔な原則に基づいて、それぞれ最低限の一つずつの指標を選ぶ。

信仰文化は大抵近代化の中で合理主義の発達により段々宗教的な信仰から合理化され、科学的な信仰に変わっていく。ということは、無神論者の割合の変化が一番この過程を反映しているだろう。われわれは信仰文化の近代化指標を無神論者の人口比率から選べる。

知識文化は、それ自身が合理化の源、象徴でもある。そのため、われわれは近代化の中の知識人の増加を指標として設定できる。知識人の増加の

表3 文化近代化の核心指標⁵

システム	核心概念	指標	初始値	完成値
文化	合理化	高等教育普及率	近代大学発足	大学入学率50%

主な道は、教育、特に高等教育の拡大によるが、われわれは大学の入学率を知識文化の近代化の指標として捉えられる。

道徳文化は近代化の中で自由、平等などの合理的な観念により合理化され、人間に対する制限が少なくなり、倫理的に犯罪の行為が減少されていく。そのため近代化の中の代表的な倫理的犯罪の除罪化進展を指標として選べるだろう。たとえば刑事法の中の同性愛の除罪化を指標として捉えられるだろう。

以上の議論を通してわれわれは次のように思想文化の近代化指標を設定できる。

- ・信仰：無神論者数の比例
- ・知識：大学入学率
- ・道徳：同性愛などの除罪化進展

3.2 制度文化近代化の指標について

制度文化の近代化は平等主義を核心として政治、経済、社会の三つの側面のあらゆる制度を含める。われわれは政治、経済、社会のそれぞれの平等化を反映できる指標を考えるべきである。

政治制度の側面において、近代化の中で一番大きな変化は、民主制度の成立と拡大だろう。そのためわれわれは各国の民主化の進展を計れば、政治制度の近代化度合がわかるだろう。幸いに民主化についての測定研究がすでにかかなりの蓄積があつてわれわれはすでに使われた民主化指数⁸を政治文化の近代化指標として使えるだろう。

経済制度の側面では近代化の中で一番大きな変化は階層の平等だろう。どの国も中間階層の拡大が顕著な特徴とされていた。そういうところで中間層の割合が経済制度の平等化の指標にふさわしいだろう。

社会制度の側面では、近代化の中の平等化の一番大きな特徴は、家族の内部のメンバーの平等化だろう。このような家族メンバーの平等化は、小家族の独立すなわち核家族化に著しく現れる。社会学ではよく核家族化を社会制度の平等化の指標として使う。たとえば京都大学の家族社会学学者

落合恵美子がかつて論文の中で子供を産む数を近代化段階の指標として使った⁹。つまり大家族制度から核家族の独立、さらに個人の家族からの独立が社会制度の平等化の重要な象徴のひとつとしてあげられていた。そうしたら核家族の割合が社会制度の平等化の指標として使えるだろう。

以上の議論を通してわれわれは次のように制度文化の近代化指標を設定できるだろう。

- ・政治：民主化（民主化指数）
- ・経済：収入配分均等化（中間層比例）
- ・社会：核家族化（核家族比例）

3.3 生活文化近代化の指標について

生活文化の近代化はうえて議論したように核心の特徴が多様化である。なぜかと言うと、生活文化の多くは潜在意識に属して合理化しにくい部分があるからである。多様化はつまり近代化の中で思想が合理化されるにつれ、潜在意識に対しての制限が少なくなり、自由に外国から新しいものを取り入れるようになっていくということである。生活文化には生活様式、慣習および芸術生活の三つの部分が含まれる。

生活様式文化は衣食住を中心にするが、その選択の制限は主に支出の能力から来ると思われる。そのため変化を支える支出能力を表す指標、総支出の中の食料支出割合すなわちエンゲル係数を生活文化近代化の度合指標として用いることが可能であろう。

慣習文化は民俗の文化であるが、その中で代表的なものは祭日だろう。そのためわれわれは伝統祭日の再建を考察すれば、その変化を計れるだろう。

芸術文化は同じく潜在的な意識部分が多いところであるが、近代化の中でやはり大きな変化は多様化であろう。ここではやはり芸術の普及状況すなわち多様化能力を考察したらその度合いがわかるだろう。そうしたらわれわれは芸術教育の規模に着目してたとえば芸術の高等教育人数を計ったら妥当だろう。

以上の議論を纏めると生活文化の近代化指標は

次のようなものになるだろう。

生活：エンゲル係数

慣習：再建される祭日数

芸術：高等芸術教育規模（学生数）

3.4 文化近代化の指標の達成度について

今までわれわれはそれぞれの文化分野で核心的な指標を吟味してみた。そこからわれわれは一級指標三つ、二級指標九つの核心的な指標を考案した。このような核心的な指標は、先行研究の中の指標の煩雑さを避けて、より鮮明に文化の近代化のあらすじや進展ぶりを反映できるだろう。

指標の構造のほかにもまた指標の達成度のことも考えなければならない。すなわちそういう九つの文化指標がそれぞれどの点数で第一近代（1970）の文化近代化に達成されたか、どの点数で第二近代（1970-）の文化近代化に達成できたかと言うことである。この点について通常は文化近代化の先進国の経験値すなわち発達国の文化近代化の平均値をそれぞれ段階値として参考にする遣り方である。本論もこういう方法でそれぞれ第一近代と第二近代の標準値を考える。そうするとわれわれの日本の文化近代化測定指標は次の表4のようになる。

終わりに

本論は先行研究を踏まえて近代化の中の文化近代化およびその測定指標について考えた。本論はまず文化の概念と文化近代化の意味合いについて、社会学や文化人類学の理論に基づいて、再定義と再理解をして自分なりの枠組みを構築した。さらにそれを元に既存の文化近代化測定指標の煩雑さを克服して、簡潔で鮮明な文化近代化核心指標も考案した。このような指標で日本文化の近代化過程が計れると本論は信ずる。残された課題は、この指標を用いて日本の文化近代化関連統計を洗い出し、実際に比較することであると思う。紙幅の都合で別稿に譲りたい。

表4 日本文化近代化の測定指標

一級指標	二級指標	指標	単位	第一近代値	第二近代値
思想文化	信仰文化	無神論者割合	%	先進国平均	先進国平均
	知識文化	大学入学率	%		
	道徳文化	同性愛などの除罪化進展	0-10		
制度文化	政治制度	民主化指数	0-10		
	経済制度	中間層割合	%		
	社会制度	核家族割合	%		
生活文化	生活文化	エンゲル係数	%		
	慣習文化	再建する祭日数	個数		
	芸術文化	高等芸術学生数	実数		

注

- 1 富永健一『日本の近代化と社会変動』、講談社、1990年により筆者が作成。
- 2 Black, Cyril. *The Dynamics of Modernization: A Study in Comparative History* (1966)
- 3 何伝啓主編（2009）『中国近代化報告2009——文化近代化研究』p99. 北京大学出版社
- 4 辛文斌（2007）『新民主主義論と中国の文化近代化』、中央編訳出版社
- 5 周維宏（2012）「逆転と圧縮：日本近代化の時間と手順を考える」、『学術前沿』、11
- 6 何伝啓主編（2009）『中国近代化報告2009——文化近代化研究』北京大学出版社
- 7 何伝啓主編『中国近代化報告2009——文化近代化研究』北京大学出版社
- 8 国連のシンクタンク『経済学者』（EIU）がすでに民主指数（Democracy Index）と言うものを設計して毎年発表している。この指数は選挙制度、政府システム、政治参加度、政治文化および住民自由度などの五つの指標で構成されそれぞれ0-10までの点数で世界各国の民主化度合いをランク付ける。
- 9 OCHIAI Emiko (GCOE Program Leader, Kyoto University) : Reconstruction of Intimate and Public Spheres in Asian Modernity: Familialism and Beyond, *Journal of Intimate and Public Spheres*, Pilot Issue, 2010,3